

環境厚生委員会

植松 健一 委員長コメント

今定例会における環境厚生委員会は、市立病院から経営状況についての定期事業報告を受けました。医師確保の状況については、昨年と比べて9月時点で整形外科の医師が1人の増員など、診療体制の充実が報告されました。

また、以前からの懸案事項である会計時における待ち時間短縮のため、11月6日(月)より自動精算機が2台設置されるとの報告がありました。待ち時間が短縮され、市民の不満の解消に繋がることを期待します。また、委員から病院経営について様々な質問が行われました。

病院の報告以外では、当委員会の政策課題である「プラスチックをはじめとするゴミのリサイクルについて」のための研究視察について、視察を行う先進事例箇所の内容についての確認を行いました。



産業都市委員会

村瀬 旬 委員長コメント

熱海市伊豆山で発生した違法な盛土による大規模土石流災害が、富士宮市でも決してあってはならないよう、県内の非常に悪質な事案について、函南町内と沼津市内の緊急度の高い不適切盛土の現地調査に行き参りました。

函南町内の不適切盛土現場は、住民説明会の内容と全く違った開発をされており、また沼津市内の不適切盛土現場では、無許可で住宅地域の裏側に残土が積み重ねられていました。

富士宮市においても条例違反の案件が数件あり、当委員会として市当局と一体となり解消に向けて、今後も継続して調査研究していきます。



▲函南町内の不適切盛土現場



▲沼津市内の不適切盛土現場